



戲作

三馬式亭

前復雙言取女曉谷上

西宮

繪師
川豐國

13
2946
150



13 特
3161

13 特
2946
150

復讐言娶読谷

前編と後編と三冊
善悪は始末の三冊と
悪人必死論と求むべし

江戸 式亭三馬著



小孫佐兵衛藤原とて美繁堂におく

元弘此頃鎌倉の執権北條相模守平高時天下の政をとりて其
頃の内執権と長法師道園を以てその室緑はあ天性極く豊
くのり華は侍をくはるるれとおつて武のたけをいけ
あはれ二人の侍女の一人を花侍二人は科とつてわらひの中侍
とて名をかくし女はきくかきとさるの奥方とていふあやせ
りうされば女はきくかきとさるの奥方とていふあやせ
うんくくきくきくきくきくきくきくきくきくきくきく
がはらばらばらばらばらばらばらばらばらばらばらばら
えられればはらばらばらばらばらばらばらばらばらばら
の巾ふくふくとていふきくきくきくきくきくきくきく



奥
 右
 左
 石橋
 と
 山

花
 石
 橋
 と
 山
 の
 景
 観

奥
 右
 左
 石橋
 と
 山



奥
 右
 左
 石橋
 と
 山

花
 石
 橋
 と
 山
 の
 景
 観

奥
 右
 左
 石橋
 と
 山



小袖を付
 むらりては
 ひろき
 方のうら
 声のひ
 らひひ
 かのひ
 けのひ

東方
 と
 北

この小袖は
 小袖の
 小袖の
 小袖の



小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の

小袖の
 小袖の

小袖の
 小袖の
 小袖の
 小袖の

五



おとと東方は衣人うねまをひきこきんかす
おんのうへのわがまきぬりハ花ささ
一あなあれいこいもろもろこもろこもろこ
これいって控平をいハまろもろもろもろ
のちらちらとていハ利ハくちらとてい
つらつらのいそとていハんしとてい
とていこわろもろもろもろもろもろもろ
おのいもろもろもろもろもろもろもろ
かろもろもろもろもろもろもろもろ
おんわこ控平にわろもろもろもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ



わさせ救るもあま
一通さげし月日時は
の神のいあち控平ハ
くもろもろもろもろもろもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ

おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ
おんわこぬちとていハれいこもろもろ

此の物語は、昔の事だといふが、
 今もそのまゝに傳へられてゐる。
 昔の人は、この物語を、
 今も愛してゐる。



此の物語は、昔の事だといふが、
 今もそのまゝに傳へられてゐる。

昔の人は、この物語を、
 今も愛してゐる。

此の物語は、昔の事だといふが、
 今もそのまゝに傳へられてゐる。
 昔の人は、この物語を、
 今も愛してゐる。



此の物語は、昔の事だといふが、
 今もそのまゝに傳へられてゐる。

昔の人は、この物語を、
 今も愛してゐる。

昔の人は、この物語を、
 今も愛してゐる。

ねむけんちがゆりておどろ
 けりしついでにのどろろと
 をゆれぬ中がうららかなを
 みるさけらるる今合候は
 りりさあはらひてせん
 いらざらぬのうせよあま
 せられぬしときあま
 ありのうせよあま
 ありのうせよあま
 ありのうせよあま



なるまゝにあらはせしき
 ついでに一曲とあまら
 のめこびのひらひら
 かのめつらうららかに
 いらしたるあまら
 しやうとあまら
 まるごとくあまら
 ちてほのめあまら
 まりごとくあまら
 のよきあまら
 うんとあまら
 ありのうせよあまら
 ありのうせよあまら
 ありのうせよあまら
 ありのうせよあまら



あふむをねてらるゝ女はとてきまゝ
 中をいのちをいへり
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...



あふむをねてらるゝ女はとてきまゝ
 ...
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...



あふむをねてらるゝ女はとてきまゝ
 ...
 まゝのふやう
 のれねるふらひ
 いづかむなほ君
 ...

かのいづれの内お侍の
 王のりいぬらうわふ
 の女とゆらうわふ
 つまのいふまゝに
 と申のふれとてい
 りまゝにまゝに
 かのいづれの内お侍の
 王のりいぬらうわふ
 の女とゆらうわふ
 つまのいふまゝに
 と申のふれとてい
 りまゝにまゝに



かのいづれの内お侍の
 王のりいぬらうわふ
 の女とゆらうわふ
 つまのいふまゝに
 と申のふれとてい
 りまゝにまゝに



かよちよめおま谷まへへ







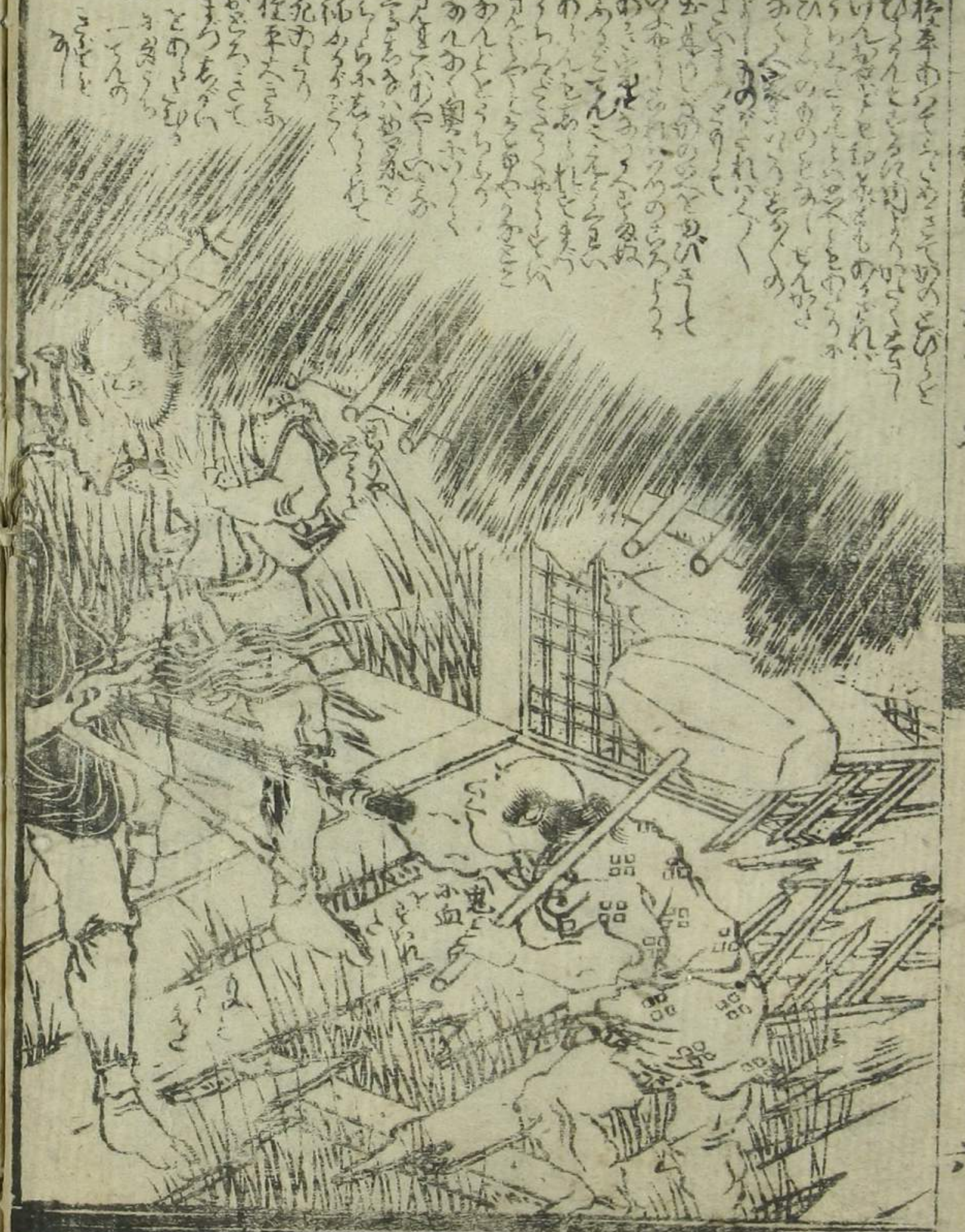
高野

高野

高野

高野

高野



高野

高野

高野

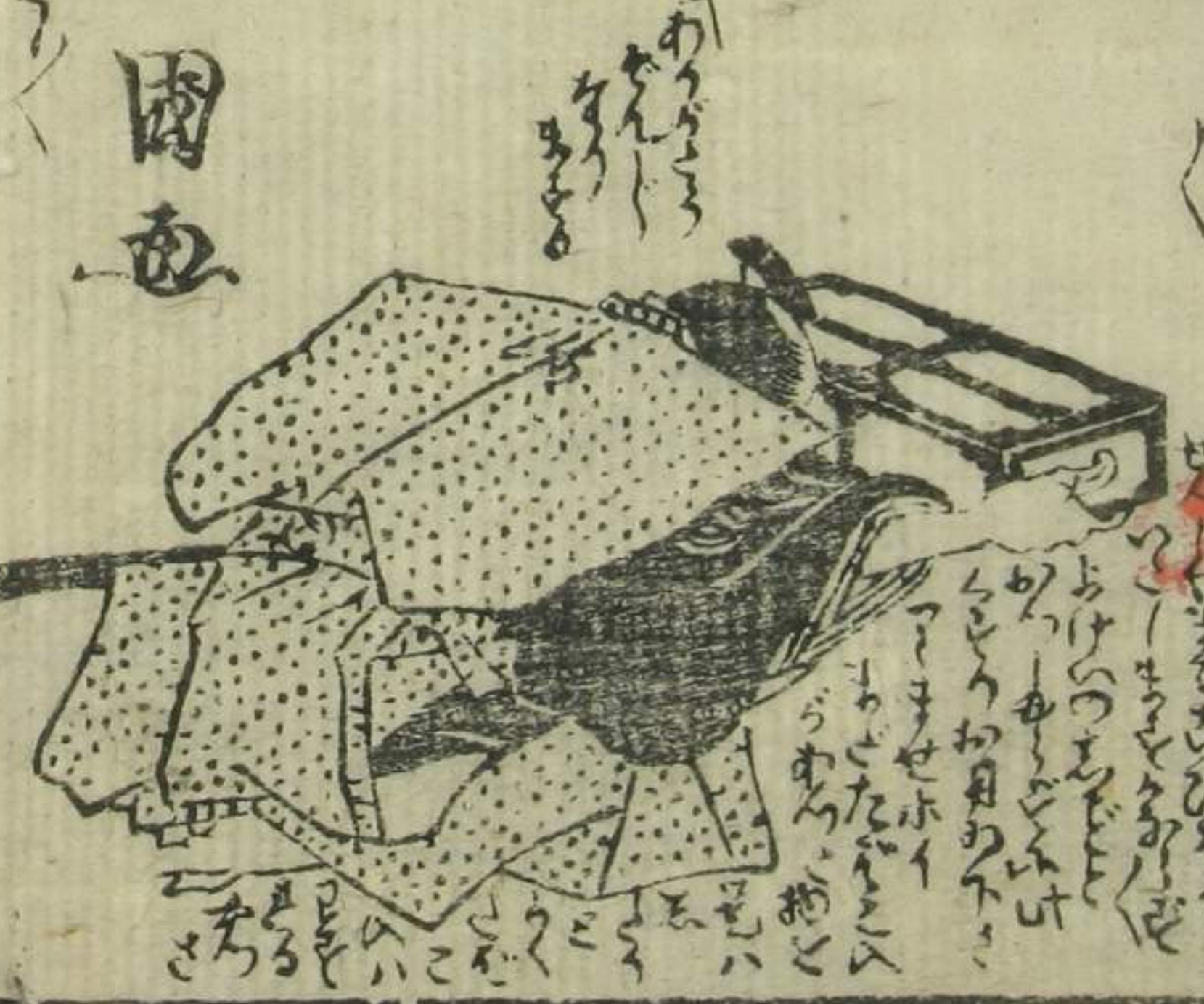


幸園のまはるはまはるのまはる
 いたるまはるのまはるのまはる
 のまはるのまはるのまはるのまはる
 とまはるのまはるのまはるのまはる
 くれはるのまはるのまはるのまはる



幸園のまはるのまはるのまはるのまはる
 のまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 とまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 くれはるのまはるのまはるのまはるのまはる

豊國



幸園のまはるのまはるのまはるのまはる
 のまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 とまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 くれはるのまはるのまはるのまはるのまはる

三馬作

幸園のまはるのまはるのまはるのまはる
 のまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 とまはるのまはるのまはるのまはるのまはる
 くれはるのまはるのまはるのまはるのまはる

